

2023 年度新入社員在宅オンライン研修の実施結果 詳細

(1) オンライン研修の実施内容

- ・期間:2023 年 4 月 3 日(月)～4 月 21 日(金) 計 15 日間
- ・対象: 凸版印刷および、グループ会社の 2023 年度定期大卒新入社員 (499 名)
- ・研修内容(一部):
 - ・ 約 20 人に 1 人の割合で社員トレーナーを配置するサポート体制
 - ・事前収録した動画を用いた 凸版印刷 に関する基礎知識などの研修ライブ配信セミナー
 - ・ハーバード大学医学部・ソルボンヌ大学医学部客員教授 根来秀行氏による「パフォーマンスアップに導く 24 時間の過ごし方」
 - ・Dancing Einstein 社 青砥瑞人氏による「ストレスマネジメント」「セルフ マネジメント」
 - ・ウェアラブルデバイス(Fitbit) と オリジナルアプリ を用いたコンディション管理の実践
 - ・朝 昼 夕と、トレーナーや新入社員同士の交流を深めるライブコミュニケーション
 - ・社会的課題解決に向き合うグループワーク
 - 1)障がいをもつアーティスト が描く 作品の付加価値を高める「可能性アートワーク」
 - 2)被災地福島のケーススタディを用いた「あすびと福島プログラム」
 - 3)テーマを基に情報収集し自身の考えを発表する「個人研究プログラム」
 - ・DX の基礎知識と、AWS 研修・認定資格受験および、最新テクノロジーの体感 ChatGPT
 - ・ 海外拠点との生配信によるグローバル研修プログラム
 - ・VR ゴーグルを活用した 体感型研修 プログラム

(2) オンライン研修の実施背景

新型コロナウイルスの感染拡大以降、企業などにおける集合型研修の多くは、感染拡大防止のためオンラインに切り替わりました。昨今、新型コロナウイルスが一定の収まりを見せたことで、従来型の集合研修に戻す傾向があります。凸版印刷では、過去に行ったオンライン研修の結果から、オンラインでの研修はリアルでの研修に比べて満足度はやや下がるものの、理解度、活用度は高いという傾向が見られています。また、デジタル人財の育成に向け、オンラインのメリットを最大に活かしつつ、デジタルテクノロジーを進化・活用することで、付加価値のあるプログラムの提供に挑戦し、新入社員の成長促進を目指しました。

具体的には、オンライン研修を突き詰めた教育ラーニングプラットフォームを活用し、動画などを用いて学習できるように整備するとともに、WEB 会議システムを用いた生配信の講義を進めてきました。あわせて、デジタル化により端末に向かい座学が続くことによる生産性低下の対策として、身体のコンディションに関するセミナーや、独自開発をしたスマートフォンアプリやアニメコンテンツも揃えることも実施してきました。

(3) 新入社員研修における主な成果

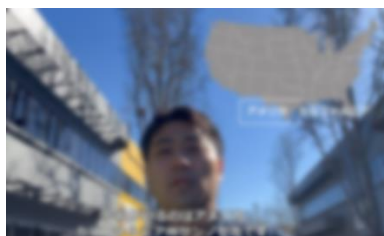
■DX に関わる講義を取り入れ基盤知識を付与、最新テクノロジーの ChatGPT を活用し、スキル習得を促進する施策を通じてデジタル人財育成の強化を図りました。加えて大卒新入社員全員(約 500 名)に多くの自社サービスのプラットフォームとして採用している AWS に関する研修と AWS 認定資格受験を実施。トッパンとしては、これまで 2000 名以上が認定資格取得しているが、今回の新入社員は 9 月時点で 50%、212 名が合格しクラウドプラクティショナーの認定資格取得をしており、DX 強化に寄与しています。

■グローバル講義だけでなく、より新入社員にグローバル(海外)を身近に体感させることで、グローバルへの意識を醸成するためのプログラムを新設・実施。「アメリカ/シリコンバレー」と「タイ/バンコク」の2名の駐在している先輩社員にご協力を頂き、「現地の環境の紹介映像(事前収録)」と「現地と生中継を結んでの対話」の2パートで構成。事前のアンケートでは、海外に対する意識が強い新入社員も多く、当日の質疑では、対応し切れないほどの挙手があるなど大きな反響を得ました。アンケートでは、「海外を身近に感じた」「具体的に話が聞けて、グローバルへの意欲がより高まった」といった新入社員からの回答が見られました。

■スタンドアローン型 VR ゴーグルを新入社員約 500 名全員に貸与し、唐招提寺・金堂を舞台に、完成当時の色彩や内部構造を体感できる「文化教養 VR 研修」や印刷工場の製造工程を VR 化した「VR 工場見学」、製造現場での安全を学ぶ「安全道場 VR」コンテンツを提供。「多様性」「独創性」に富む「豊かで美しい感性」を養う「ToppanSense」の達成度が 98.6%(昨年比+1.5%)、社員として身につけるべき技能を習得する「ToppanSkill」の達成度が 96.2%(昨年比+2.0%)と上昇しました。

■ デジタルテクノロジーを活かし、①知る～「30 秒動画じぶん表現」 ②話すきっかけづくり～「先輩社員の部屋」 ③共感/応援し合う～「たまとサンクスポイント」 ④自由な会話～「メタバース空間上での交流」の各施策を横断的に組み合わせることで、同期入社同士のネットワーク構築を強化しました。特にメタバース空間では、新入社員を模したアバターを用いて、任意の相手と自由に会話を楽しむことや、握手やハイタッチなど体感を用いたコミュニケーションをとることができます。

■次世代型の人財開発のあるべき姿を調査・研究・検証する場である「人財開発ラボ」への理解・興味喚起を狙った施策として、バーチャル空間として制作した「人財開発ラボ VR」を体感した。「人財開発ラボ」で推進する 8 つの研究会と 2 つのプロジェクトの解説動画の導入と、仮想社員をアバターとして導入し、研修受講への意欲を高めた結果、84.2%が出社体験でき(昨年比+28.2%)、「人財開発ラボ」の取り組みに興味を持ったのは 96.2%(昨年比+39.2%)と大きく改善できました。



【グローバル】

駐在している先輩社員が現地を紹介



【同期ネットワーク構築】

30 秒動画じぶん表現



【VR 研修センター】

人財開発ラボ VR

(4) 研修全体に対するアンケート結果

満足度	理解度	活用度
<p>満足, 111名, 22.4%</p> <p>大変満足, 385名, 77.6%</p>	<p>理解できた, 157名, 31.7%</p> <p>十分理解できた, 339名, 68.3%</p>	<p>将来的には役立ちそう, 42名, 8.5%</p> <p>配属後すぐ業務に活かそう, 454名, 91.5%</p>
<p>100.0%が「満足」と回答 (昨年+1.5%)</p>	<p>100.0%が「理解できた」と回答 (昨年±0%)</p>	<p>100.0%が「役立つ」と回答 (昨年±0%)</p>

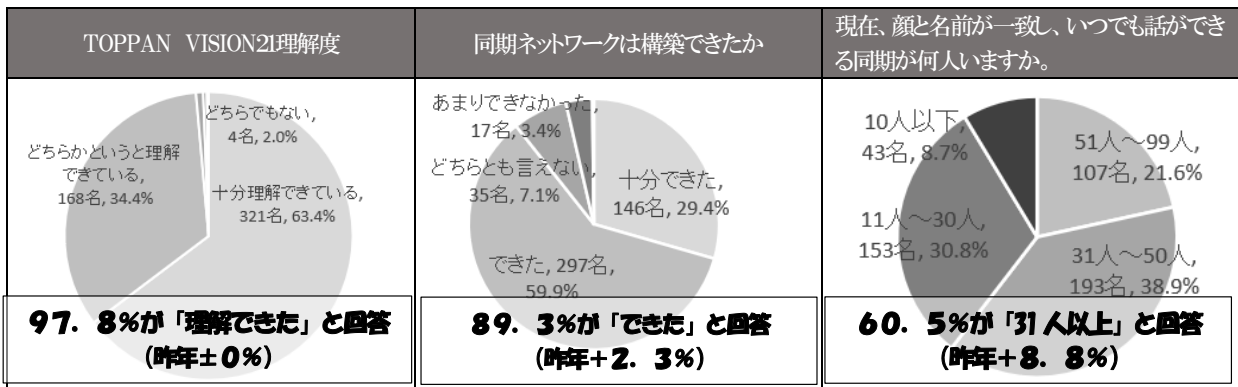
(左) 研修全体に対する満足度の結果 (中央) 研修全体に対する理解度の結果

(右) 研修全体に対する活用度の結果

弊社では入社から3年間をファーストキャリア期と位置づけています。新入社員研修はその基礎となる1年目であり、学生から社会人に成長するべく、今までの自分とこれからの自分を見つめ直し、トッパンで働くことへの意識を醸成するとともに、ビジネスパーソンとしての基礎力を身に付けることを目的に、①社会人およびトッパン社員としての行動・意識変革、②基盤知識・スキルの習得、③同期ネットワークの構築の3点を重点的に強化しています。

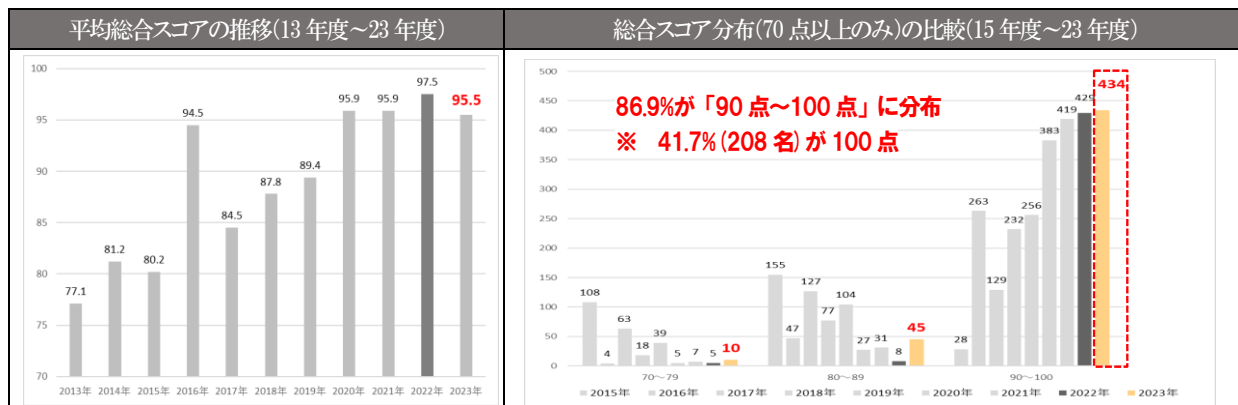
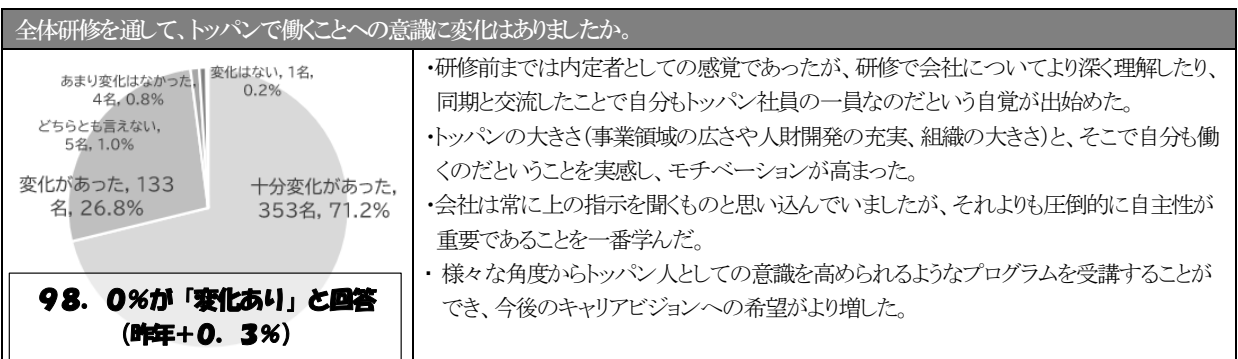
2023年度は過去のオンラインでの知見を活かした施策を実施した結果、以下の通り、重点強化ポイント3点についてそれぞれ達成することができました。

- (1)社会人およびトッパン社員としての行動・意識変革 : 98.0%達成
- (2)基盤知識・スキルの習得
 - ①ビジョン(TOPPAN VISION 21)の理解度 : 97.8%達成
 - ②総括アセスメント(講義全体を包括する総合テスト) : 平均 95.5 点達成
※90 点以上:86.9%
- (3)同期ネットワークの構築 : 89.3% 達成(リアル研修超え)



[51人以上]:前年比 +0.7%

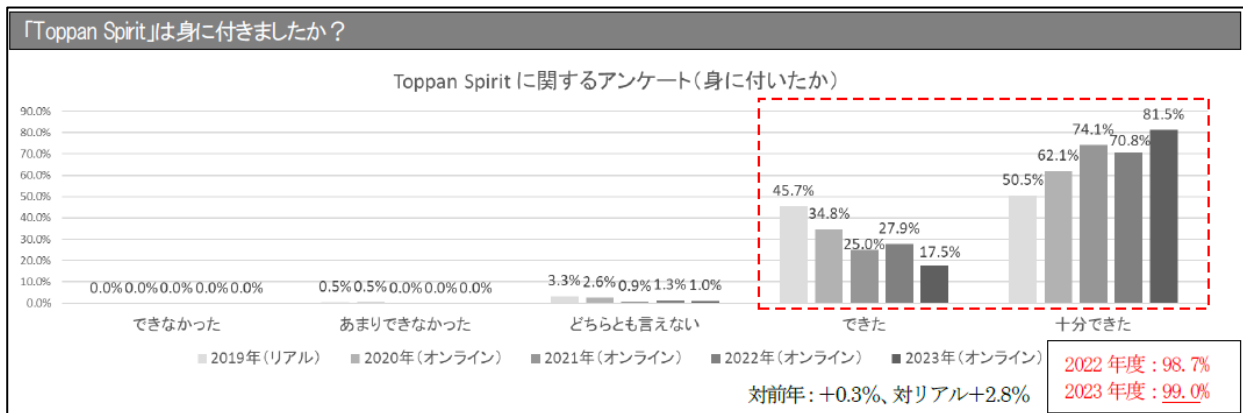
(左)企業理念の理解度の結果 (中央)同期ネットワーク構築の結果
(右)顔と名前が一致する人数の結果



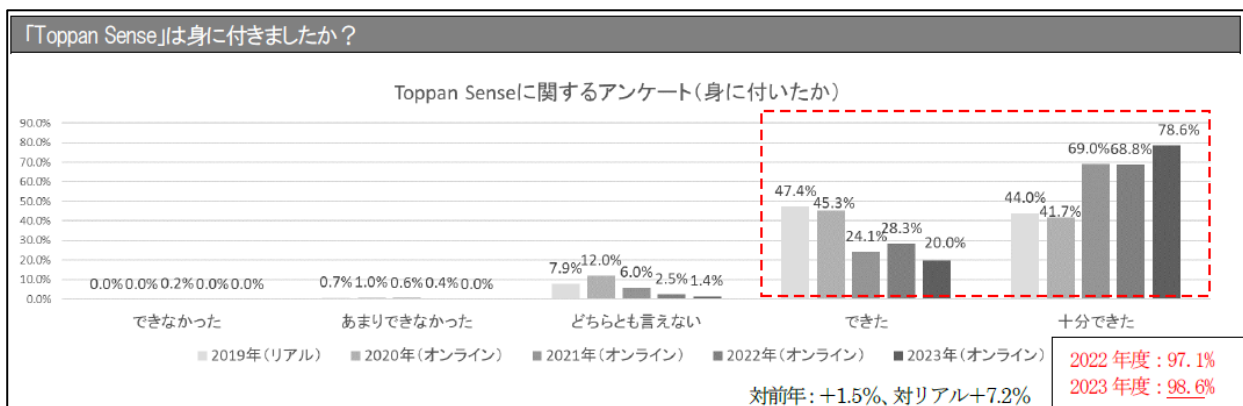
(5) 凸版印刷が定義する能力区分(※1)ごとの達成度について

全てのカテゴリにおいて、上位選択肢「十分できた」が前年と比較し、上昇しています。TOPPAN VISION21 の理解と自分ごと化の促進、DX 基盤知識とスキルの早期付与、VR ゴーグルを活用した体感型研修によるスキル・センス・コミュニケーション強化を行ったことが今回の結果に繋がっています。

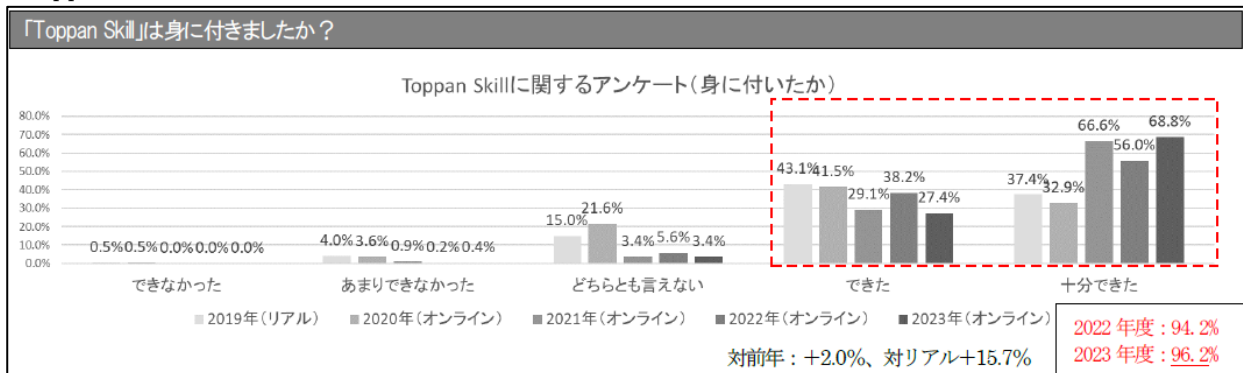
《Toppan Spirit》



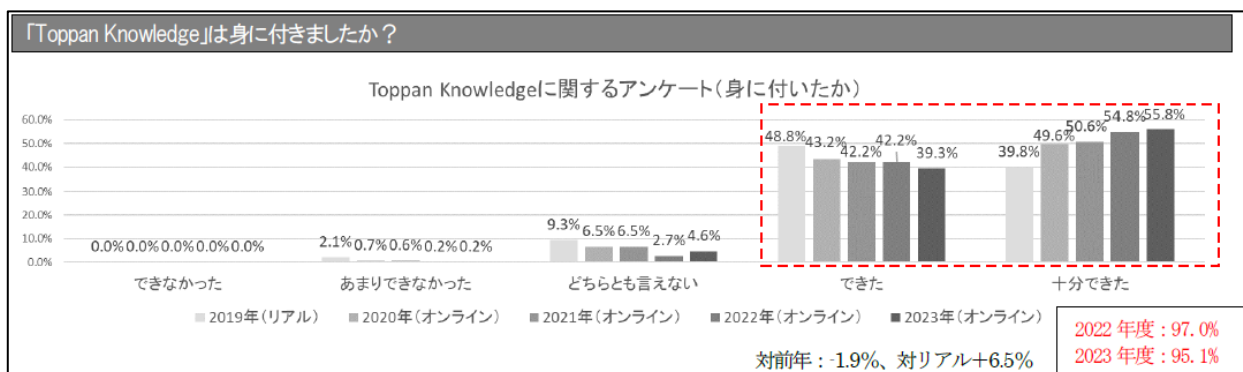
《Toppan Sense》



《Toppan Skill》



《Toppan Knowledge》



(※1)凸版印刷での能力開発の考え方として、4つの能力区分が基盤にあります。この能力区分は、トッパングループの企業理念・経営信条に立脚しています。

能力区分	概要
Toppan Spirit (TSp)	トッパンの歴史・現在の事業領域・将来の展望を知り、働く上で拠り所となる共通の価値観の醸成
Toppan Sense (TSe)	「多様性」「独創性」に富む「豊かで美しい感性」を養い、コミュニケーション能力を高め知識や技能に繋げる
Toppan Skill (TSk)	社会人・トッパン社員として身につけるべき技能の習得。
Toppan Knowledge (TKn)	社会人・トッパン社員として知っておくべき知識の習得。

(6)今後の目標

今年度はデジタル人材育成のための強化ということで、クラウド知識の AWS 研修の導入、オンラインで知識の習得を継続しつつ、スキルの習得においてVRゴーグルを活用したコンテンツを導入した結果、課題であったスキル習得の推進に寄与することができました。次年度は更なるスキル習得を目指すため、VR ゴーグルを使ったコンテンツ強化を行い、単純に 360 度動画で体感しながら動画視聴をするのではなく、加えて動画内でアクションをすることでより没入感を持ちながら体感してスキル習得を行うコンテンツ制作に挑戦し、更なるデジタル人材育成を強化することを目指します。同期ネットワーク構築においても今年度の施策を継続しつつ、より深い関係を築けるように設計をしていきます。

以 上